

vol. 214
2026.7 発行

かけがえない
時間を仲間たちと

HIROSHIMA NAGISA NEWS

HIROSHIMA NAGISA JUNIOR HIGH SCHOOL・SENIOR HIGH SCHOOL

HIROSHIMA
NAGISA
Junior High School
Senior High School

最高潮。

熱量、

VS

第61回 体育祭

CONTENTS

01 第61回体育祭
02 第61回体育祭
03 第61回体育祭

04 1年生 新入生オリエンテーション
05 2～4年生 遠足
06 5～6年生 遠足／エンデバーコース

07 パサデナ交換留学
08 新高校生徒会役員／全国大会報告／
CLUB NEWS・表彰

第61回

体育祭

IN NAGISA

日程 令和8年5月16日(土)

場所 広島なぎさ中学校・高等学校グラウンド



5年4組 / 副会長 山崎 愛子

今年の体育祭も、多くの皆様にご来場いただき、たいへん盛り上がりました。各学年の演技やリレーなどの競技結果に対し、満足した人、悔いが残った人、様々な人がいると思います。どのような経験も、私たちの糧となり、成長につながっていくと確信しています。円滑な体育祭運営にご協力いただいた生徒の皆さんや先生方、本当にありがとうございました。





今年は体育祭日和の晴れの日となり、例年同様、多くの保護者や関係者の方々にご来校いただきました。

今回の体育祭では、ゴールデンウィーク明けから準備期間が限られた日程となりましたが、グラウンドや教室などで多くの生徒が体育祭に向けた取り組みを自主的に行う姿が見られ、体育祭ムードが高まっていました。

特に昨年度から時間をかけて練習してきた集団演技では、とてもきれいに揃った演技を披露することができました。生徒は動きや思いを学年全員で合わせることに大変さと達成後の充実感を実感したことでしょう。

競技種目においては、紅白対抗やクラス対抗で勝利を目指し、白熱した勝負を繰り広げ、白組優勝で幕を閉じました。これらを通して改めて、6学年合同の体育祭が生徒の成長を促し、達成感を感じさせるために大切な行事であるということを感じました。

4年1組 / 石井 亜純

体育祭で最も力を注いだ競技は「ダブルダッチ」です。朝や昼休憩、放課後の時間で教え合いながら何度も挑戦し、充実した練習を積み重ねました。本番でも明るく声を掛け合い、笑顔を絶やさずに演技を成功させることができました。また、6年生による「10人11脚」や「フォークダンス」での協力し合う姿や楽しむ様子を見て、最高学年にとって非常に大切な最後の体育祭であることが伝わってきました。自分たちのこれからが、更に楽しみになりました。



1年1組 / 本村 直嗣

入学して最初のクラス対抗大縄跳びでは、15回程度の記録でリードしていましたが、オリゼミで他クラスに追い抜かれてしまい、本番の体育祭で優勝できるか不安でした。しかし、授業や昼休憩、放課後の練習を積み重ねた結果、見事に優勝することができ、今までの努力が報われました。この経験を通して、これからの学校生活でも努力をすることで、良い結果を残せるように頑張りたいです。



1年生 新入生オリエンテーション

日程 令和8年4月17日(金)

場所 広島工業大学沼田校舎

200 名の新入生は、入学式から約 1 週間の間、校長講話や生徒部講話、5 教科ガイダンス、人間科ガイダンスをはじめ、校内見学などの様々なオリエンテーションを通して、「なぎさ生」としての自覚を高めることができました。また、校外でのオリエンテーションを沼田校舎で行いました。乗馬や NAP (Nagisa Adventure Program)、大縄跳びなどのアクティビティを行う中で、お互いに声を掛け合って行動し、仲間を気遣う姿が見られました。同級生や先生との親睦を深めながら、共同して学びあう姿勢や規律ある生活態度を身につけることができました。



1年2組 / 埜越 一乃

今回のオリゼミを通して、多くの人と協力することの大切さを学びました。乗馬体験では、生き物に触れる難しさを感じ、五感を最大限に活用して活動することができました。大縄跳びでは、全員で声を掛け合い、心をつなげる大切さを実感しました。自然にあふれた環境で新しい友人と深く関わることができて、とても充実した1日が過ぎました。オリゼミで築き上げた団結力を、これからの学校生活でも活かして、難しいことにもクラス全員で協力して取り組んでいきたいです。

1年3組 / 小西 彩織

オリゼミ全体を通して学んだことは、練習を重ねただけ結果が良くなる、ということです。同時に、練習を疎かにすれば、結果も中途半端になるということを学びました。これからの学校生活における学習でも、日々の積み重ねを大切にしたいと思います。失敗することもあります、その際は落ち込むのではなく、失敗を活かして良い結果につなげていきたいです。

2年生 みよし風土記の丘

古代日本の息吹を遺す史跡にて、歴史の学び方を身につけながら、新たなクラスの仲間と関係を深める時間となりました。謎解きウォークラリーで知恵を出し合い、春の野原で昼食をいただき、勾玉（まがたま）づくり体験で懸命に磨いた石を見せ合う時間の中に、それぞれ多くの発見があった1日でした。



磨き上げた勾玉



春の丘を歩いて謎解きウォークラリー



勾玉作り体験



仲を深めた昼食時間



歴史民俗資料館の見学

歴史民俗資料館では、かつて日本で使われていた道具を見学しました。その多くには不揃いな凹凸があり、道具が懸命に作られた背景を考えることで、教科書で見た時よりも身近に感じられました。また、班員全員が班のまとまりを崩さず、協力して動くことができました。その結果、仲が深まり、謎解きで優勝することもできました。この遠足を通して興味をもったものを深掘りすることや、協力する楽しさについて学ぶことができました。
(2年5組/竹林 里央渚)

3年生 平和記念公園周辺

当日は雨が心配されましたが、「クラスの親睦を深める」「広島（HIROSHIMA）を知る」を目的として、平和記念公園周辺のウォークラリーを実施しました。8時15分の平和の鐘を聴くことから始まったウォークラリーでは、地図を見ながら街を歩き、班の仲間と協力して広島に関する様々な問題に取り組みました。活動を通して、普段の生活では気づいていなかった HIROSHIMA を新たに知ることができ、平和への思いを深めた1日となりました。



遠足冊子への記入も忘れずに



広島市街をぶらり歩きます



袋町小学校での学び



壁面に被爆者の消息を知らせる伝言が残されています



閉会式

今回のピースウォークでは、大きく2つの収穫がありました。1つ目は、友人との仲が深まったことです。新クラスになって、まだ接点がなかった人とも交流することができました。2つ目は、広島への理解が深まったことです。「HIROSHIMA」や「ヒロシマ」という言葉に込められた意味を知り、この街に対する見方にも変化が生まれました。これからも意識的に広島を知っていきたいです。
(3年4組/工藤 慧一)

4年生 西条

絶好の遠足日和の中、奈良時代に建立された安芸国分寺と広島大学総合博物館をチェックポイントとして、各班で事前にコースを決め、酒蔵通りや鏡山公園、広島大学構内など、西条近辺を散策しました。最後は、広島県内最大規模の前方後円墳である三ツ城古墳に集合するという、長距離の徒歩移動を伴う文字通りの「遠足」となりました。歴史に触れるとともに、学問や進路についても考えながら、クラスメイトとの親睦を深めた一日でした。



広島大学総合博物館



遠足を終えて全員集合



三ツ城古墳にて



広島大学講義室



広島大学を目指して

今回の遠足を通して、班のメンバーとの親睦が大変深まりました。また、長距離を歩き抜いたことは、10月の夜間歩行に向けて良い経験となりました。一方、班長としては、事前の計画確認や時間に余裕を持って行動することの大切さを改めて学びました。更に、広島大学内を散策したことで、大学の雰囲気を実際に感じ、進路について考える貴重なきっかけとなりました。
(4年3組/藤賀 玲好)

5年生 しまね海洋館アクアス

しまね海洋館の見学やビーチコーミングを行いました。シロイルカ達が体調不良でバックヤード見学はできませんでしたが、仲良く穏やかに泳ぐ姿は見ることができました。ビーチコーミングでは、砂浜の漂流物などを観察しました。強風や昼食を狙うトンビの心配もなく、好天に恵まれて、5年生になって最初の学校行事を新たなクラスメイトとともに穏やかに楽しく過ごすことができました。



お土産と昼食



シロイルカプールにて



ペンギンと見つめ合う



珊瑚の大水槽



ビーチコーミング

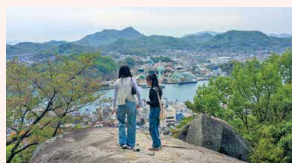
今回の遠足を通して、生き物の面白さを学びました。実際に自分の目で見ることで、インターネットや本だけでは得られない、多くのことに気づくことができました。中でも一番驚いたことは、タツノオトシゴはオスが出産するということでした。お腹が大きく膨らんでいる方がメスだと予想していましたが、説明を読んでオスだと分かり、とても驚きました。更に詳しいことを知りたいと感じました。
(5年4組/上田 志帆)

6年生 尾道市内

穏やかで過ごしやすい天候のもと、グループごとに尾道を巡りました。千光寺公園の展望台からは、尾道市街と海を挟んだ向島までが一望できました。生徒たちは細い路地を散策しながら、歴史の中で育まれてきた「坂の街」尾道を体感しました。また、フォトコンテストのために趣向を凝らした写真も撮りました。クラスメイトとともに尾道の様々な面を発見できた1日でした。



みんなでおみくじ



尾道を見渡す



坂の街を散策中



商店街にて



先生生徒共々

尾道市内の散策では、各班が事前にリサーチした千光寺などの名物スポットを巡り、ラーメンやスイーツといったグルメを堪能するなど、高校生活最後の遠足を満喫しました。私たちの班は「猫の細道」を歩いている途中、隠れ家のようなカフェを発見し、眠っている猫の写真を撮ることができました。普段なかなか体験することのない尾道独特の街並みは、私たちにとって心に残る印象的なものとなりました。
(6年2組/清水 琴子)

エンデバーコース 1泊2日校外学習

日程 令和8年3月12日(木)～13日(金)

場所 グランピング施設「The Island」

エンデバーコース4年生(当時)の秋山結菜さんが主体となり企画・立案した、1泊2日の校外学習を金輪島のグランピング施設で実施しました。生徒発信のこの行事では、コーヒー焙煎や火起こしなどの体験、1年間の学びの振り返りとして「本音を語る会」を行いました。仲間との絆を深める非日常の時間は、主体性や課題解決力を養う貴重な経験となりました。今後も生徒の自発的な挑戦を、教員一丸となって支援していきます。



BBQ



コーヒー焙煎



釣り体験



コーヒー焙煎



帰路

今回の校外学習では、企画からプレゼン、実施までを通して、企画を形にする難しさと大切さを学びました。特に「本音を語る会」で互いの考えを共有できたことが印象に残っています。非日常の中で仲間と過ごしたことで絆が深まり、来年度(5年生)に向けた関係性を築くことができました。
(5年7組/秋山 結菜)

5月19日から28日まで、ニュージーランドのパサデナ中学校から22名の生徒を迎えました。2年生を中心に授業や部活動体験、校外での見学などを通じて交流しました。ホストファミリーとなったご家庭の心遣いの中、楽しい思い出を作ってくれたと思います。生徒たちは英語で積極的にコミュニケーションを図ることで、通じる嬉しさを感じ、あるいは思いを表す難しさを知りながら、異なる文化や価値観への理解を深めました。

ニュージーランド ▶ なぎさ 受入

日程 令和8年5月19日(火)～5月28日(木) 受入 本校



パサデナ生に和太鼓の披露



学校での対面式



クラスで過ごした楽しい時間

2年2組 / 亀谷 優

ニュージーランドの生徒を家庭へ受け入れるにあたり、積極的に会話を続けられるよう努力しました。実際の会話は想像より何倍もスピードが速く、知らない単語も多いため、内容が理解できない時もありましたが、登下校中や外出時など、精一杯挑戦しました。先輩方のアドバイス通り、動詞などの単語を覚えることの大切さを改めて感じました。7月の訪問に向けて、より一層勉強に力を入れていきます。

首藤 絵美 (2年4組 首藤朱里の保護者)

初めての留学生受け入れで身構えていましたが、我が子と同じように見守り声掛けを行えば、言葉や文化の壁を乗り越え、心が通じ合えることを実感しました。子どもたちも最初は戸惑っていたものの、互いの違いを認め合い、どうすべきか自ら考え、行動を変えるきっかけになったようです。「家族」で分かち合った体験は忘れられない思い出になると同時に、それぞれの成長に繋がるかけがえのない学びの時間となりました。

クラスでの交流



スポーツチャンバラ体験



パサデナ生との授業



なぎさ生ガイドとの平和学習



クラス対抗ドッジビー



学校での昼食時間

週末の宮島散策



みんなで宮島水族館



着物で岩国散策



週末に楽しんだ弓道



パディと一緒に「いってきます」

Sophie Westgarth

On May 17th, 22 students from Pasadena Intermediate (in New Zealand) embarked on an unforgettable journey to Japan. While Tokyo was amazing, the heart of our trip was Hiroshima. Immersed in Japanese schooling and homestay life, we challenged ourselves to adapt to a completely new culture. Attending daily classes and experiencing traditions like Flower Arranging and the Tea Ceremony opened our eyes to both the differences and beautiful similarities between our worlds. Beyond the incredible excursions like the Peace Memorial Park, the true highlight was building deep, genuine connections. This trip sparked lifelong friendships, and we cannot wait to return the wonderful hospitality when we host our Nagisa buddies in Aotearoa New Zealand!

新高校生徒会役員



ご挨拶

新生徒会長 山根 隼 (5-6)

私はこれまで「生徒会を身近な存在にしたい」という思いのもと、中学生の時から3年間、生徒会執行部として活動してきました。その思いは、今でも変わることはありません。今年度は、更に身近な生徒会を目指し、高校生徒会長として生徒の皆さんの学校生活を支援していきます。1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

生徒会長 山根 隼 (5-6)

文化部長 日隈 紅杏 (5-1)

副会長 山崎 愛子 (5-4)

運動部長 清本 采芭 (4-3)

会 計 岩木 悠馬 (5-5)

風紀委員長 藤井 奏輔 (4-1)

堀内 聡美 (4-6)

美化委員長 渡邊 奏羽 (4-6)

書 記 森永 陽向 (4-3)

会計監査 寺本 悠貴菜 (5-1)

納田 涼菜 (4-4)

福原 朱乃 (5-5)

全国大会報告

ヨット 2026 年 JOC ジュニアオリンピックカップ

日程 令和8年5月1日(金)～5日(火) 会場 境港公共マリナー

成績 優勝



表彰式(中央: 豊澄さん)

境港で開催されたJOCジュニアオリンピックカップにおいて、ILCA6級女子で優勝することができました。当日は苦手としていた微風の中で苦勞する場面もありましたが、最後まで粘り強く戦い抜くことができました。日頃より応援している皆様に感謝申し上げます。今後も文武両道を大切に、更に成長できるよう努力を続けます。
(6年6組/豊澄 麻希)

ヨット 2026 年 JOC ジュニアオリンピックカップ

日程 令和8年5月1日(金)～5日(火) 会場 境港公共マリナー 成績 第2位



競技中の様子

JOCジュニアオリンピックカップでは、優勝を目標に毎日練習してきました。しかし結果は2位で、とても悔しかったです。試合では自分の弱さや課題が見つかり、まだ努力が足りないと感じました。この悔しさを忘れず、次の大会では優勝できるように、これからも練習に取り組んでいきます。
(5年4組/豊澄 隆成)

音楽 第4回プリマヴェーラ音楽コンクール

日程 令和8年4月26日(日)

会場 LICはびきの(大阪府) 成績 第2位

この度、全国大会で第2位という結果を残すことができ、大変嬉しく思っています。支えてくださった先生方や仲間、家族への感謝の気持ちで一杯です。本番では自分らしく歌うことを意識し、これまでの練習の成果を発揮できました。今回の経験を励みに、これからも表現力を磨き、更に成長していきたいです。
(5年3組/山下 純平)



全国大会第2位受賞

エンデバーコース

『君とクリームソーダ』オーディション合格

日時 令和8年1月25日(日)、4月19日(日) 会場 スタジオZEN(東京都)

エンデバーコース5年生の山野井心萌さんが声優オーディションに合格し、アニメ収録デビューを果たしました。出演作品は現在、千葉テレビで放映中です。エンデバーコースでは、生徒一人ひとりの夢の実現に向け、個々の活動も積極的に後押ししています。



演者の皆さんと

初収録は分からないことも多く、周囲に引っ張られながら進みましたが、ミュージカルや学校発表の経験から過度な緊張をすることなく臨めました。2回目はセリフ数の少ない役で悔しさもありましたが、向き合っ中で新たな学びや技術に気づき、役の在り方への理解を深める経験となりました。(5年7組/山野井 心萌)

CLUB NEWS

中高囲碁・将棋部

第62回 全国高等学校将棋選手権大会 広島県予選
第50回 全国高等学校総合文化祭 将棋部門

令和8年5月10日(日)
女子団体戦 優勝 ※全国大会出場
山本 董(6-3)、渡辺 愛子(6-6)、村上 結衣(5-4)

高校硬式テニス部

第79回広島県高等学校総合体育大会テニス競技

令和8年5月24日(日)
男子団体 第3位 ※中国高等学校テニス選手権大会出場
山田 悠世(5-3)、沖田 太陽(5-7)、熊谷 光真(6-3)
川元 秀五(5-4)、岩根 大地(6-5)
令和8年5月31日(日)
男子ダブルス 第3位 ※中国高等学校テニス選手権大会出場
熊谷 光真・沖田 太陽
第5位 川元 秀五・山田 悠世
男子シングルス 第7位 沖田 太陽

中高放送部

第73回NHK杯全国高校放送コンテスト
第67回広島県大会

令和8年6月7日(日)
ラジオドキュメント部門 優良賞(全国大会出場)
中川 すみれ(6-2)、橋本 莉奈(6-3)
令和8年5月31日(日)
アナウンス部門 審査員奨励賞
渡邊 奏羽(4-6)、山本 彩華(4-2)

高校陸上部

第79回 広島県高等学校総合体育大会(陸上競技)

令和8年5月31日(日)
女子4x400mリレー 第3位
※第79回中国高等学校陸上競技対校選手権大会出場
瀬尾 若菜(6-3)、石河内 綺(5-3)、
小倉 榮(5-2)、佐藤 綾音(5-6)
男子4x400mリレー 第8位
井上 聡一郎(6-4)、高山 遼斗(5-5)、
増岡 悠葵(5-5)、倉本 竜成(4-7)

馬術部

第12回中・四国高等学校春季馬術大会

令和8年5月10日(日)
L級障害飛越競技C 第2位 中村 月響(5-6)
クロスバー障害飛越競技 第2位 吉岡 優里(5-6)

水泳部

第79回広島県高等学校総合体育大会水泳競技の部(水球)

令和8年5月23日(土)・24日(日)
水球 第3位

柔道部

第73回中国高等学校柔道大会広島県予選会

令和8年4月25日(土)
柔道 個人戦 第5位 入賞 村上 寛明(6-5)

令和8年度 広島市中学校柔道選手権大会

令和8年5月23日(土)
柔道 女子個人戦 第3位 入賞 安藤 瑠妃(3-4)
柔道 男子個人戦 第3位 入賞 西尾 俊祐(3-5)

表彰

エチュードコンクール 2026 ファイナル

令和8年2月21日(土)
DII部門 第1位 太田 愛梨(2-3)

SAKURA JAPAN MUSIC COMPETITION 2026

令和8年3月27日(金)
ピアノ部門全国大会中学生の部
第1位 太田 愛梨

第42回JPTA ピアノ・オーディション

令和8年3月29日(日)
【B部門】(中学生) 全国大会
優良賞・課題曲賞 太田 愛梨